



2021年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月12日

上場会社名 株式会社 井筒屋

上場取引所 東 福

コード番号 8260 URL <http://www.izutsuya.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 影山 英雄

問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務部長 (氏名) 細迫 有文

TEL 093-522-3414

四半期報告書提出予定日 2020年10月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第2四半期の連結業績(2020年3月1日～2020年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第2四半期	23,256	29.9	403		457		259	
2020年2月期第2四半期	33,196	12.1	551	81.0	501	556.8	331	

(注) 包括利益 2021年2月期第2四半期 257百万円 (%) 2020年2月期第2四半期 363百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第2四半期	22.65	
2020年2月期第2四半期	28.92	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第2四半期	49,106	7,856	16.0	685.76
2020年2月期	50,339	8,113	16.1	708.21

(参考) 自己資本 2021年2月期第2四半期 7,856百万円 2020年2月期 8,113百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期				0.00	0.00
2021年2月期					
2021年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	24.4	300		700		600		52.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期2Q	114,480,495 株	2020年2月期	114,480,495 株
期末自己株式数	2021年2月期2Q	23,525 株	2020年2月期	23,438 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期2Q	11,457,045 株	2020年2月期2Q	11,457,145 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を及ぼす可能性のある重要な要因は、当社グループを取り巻く商圏動向、公的規制、自然災害・事故、金利の変動等がありますが、これらに限定されるものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2020年3月1日～2020年8月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により、戦後最大とも言うべき危機に直面し、長らく景気の悪化が続いておりました。期後半には景気持ち直しの動きがみられましたが、いまだ感染症拡大の収束は不確実であり、極めて厳しい状況が続くものと予想されます。

百貨店業界におきましても、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休業や営業時間の短縮をはじめ、大型催事の中止など営業機会の縮小による入店客数の大幅な減少や、インバウンド需要の激減などにより、全国的に前年実績を大幅に下回る厳しい商況となりました。

当社グループにおきましても、緊急事態宣言を受け、4月9日から5月15日までの37日間にわたり、本店および黒崎店の食品売場を除くフロアを臨時休業いたしました。山口店やサテライトショップにおきましても、営業時間の短縮や休業など、極めて厳しい営業活動を余儀なくされました。

緊急事態宣言解除後につきましては、感染拡大防止の観点から、本店・黒崎店ともに営業時間を短縮し、全館営業を再開いたしました。営業再開後の商況につきましては、特別定額給付金の後押しもあり高額商品が伸長し、外出自粛に伴い、リビング用品や家電といった家中関連需要の増加がみられました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による臨時休業や営業時間の短縮等の影響により、売上高は23,256百万円（前年同期比70.1%）、営業損失は403百万円（前年同期は551百万円の営業利益）、経常損失は457百万円（前年同期は501百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は259百万円（前年同期は331百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

当社グループは、コロナ禍という厳しい状況にありながらも、お客様に安心・安全にご利用いただける環境を整えてまいりました。

具体的な新型コロナウイルス感染症拡大対策といたしましては、大型催事の休止や、催事・イベント実施の場合には3密防止をはじめ感染症拡大防止を常に意識し、入場制限や時間帯別入場、飛沫防止シールド設置などの対策を行っております。

本店では、各入店口でのサーモグラフィを活用した検温やマスク着用チェック、手指消毒の促進、従業員による店舗設備の定期消毒などを行っております。

また、従業員に対しましても、出勤時の検温・マスク着用の徹底と手指消毒の促進を継続しております。

[本店（小倉店）]

本店におきましては、お客様のご要望に応えるべく、衛生商材をはじめとする生活必需品販売やオンラインショッピングの体制強化を図りました。また、北九州市受託事業として、外出を自粛されている市民の皆様への買物支援ならびに売上に影響を受けている地元飲食店の販路拡大支援のため、当社のオンラインシステムを活用した市内配送サービス「デリバリー北九州」を実施し、お客様から多くのご注文をいただきました。さらに、食品宅配サービスエリアを拡大（新たに門司、戸畑、八幡地区まで拡大）し、お客様の利便性向上に努めました。また、ポイントアップデーにつきましても「密」な来店を避ける為、「マイポイントアップ」を企画し、お得意様が日程を選択できるポイントアップ制度を実施いたしました。

[黒崎店閉店]

黒崎店におきましては、賃借先である株式会社メイト黒崎より、本年1月にクロサキメイト閉店及び破産手続き開始申し立てがあり、8月17日をもって営業を終了いたしました。地域のお客様からもご支持をいただいておりますが、62年という永きに渡る歴史に幕を閉じました。なお、9月1日にイオンタウン黒崎に後継店舗として、食品や雑貨、衣料品等を取り揃えたサテライトショップをオープンしております。

[山口店]

山口店におきましては、山口商工会議所と連携し、店舗内に5月より「経済産業省持続化給付金 申請サポート会場」を設置いたしました。また、県産農林水産物の需要の回復・拡大の一助を担うべく、8月に山口県発行のカタログギフト「ぶちうま！山口」を販売し好評いただくなど、地域小売業としての役割を果たすべく努めております。

営業再開直後はお客様の消費行動にも慎重さがみられ、売上の変動幅が大きく推移いたしました。第2四半期以降、売上および入店客数は前年実績を下回る水準ではありますが、直近では回復の兆しをみせております。

当社グループは、今後の商環境変化に対応するため、店舗の更なる魅力向上と効率的な運営体制の構築に努めますとともに、引き続き安心・安全を第一に、お客様にご満足いただける百貨店らしさを追求してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,233百万円減少し、49,106百万円となりました。これは主に商品、有形固定資産の建物及び構築物等が減少したことによるものであります。

負債については前連結会計年度末に比べて976百万円減少し、41,249百万円となり

ました。これは主に支払手形及び買掛金の減少によるものであります。純資産は、主に親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金の減少のため前連結会計年度末に比べて257百万円減少し、7,856百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2020年7月8日に公表しました「2021年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、2021年2月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、業績に与える未確定要素が多いことから未定としておりました。2020年5月14日(木)、福岡県の緊急事態宣言が解除されたことを受け、臨時休業をしていた本店・黒崎店につきましても、営業を再開いたしました。再開直後は売上推移の変動幅が大きかったものの、第2四半期以降、売上および入店客数は前年を下回る水準であります。直近では回復の兆しを見せていることを踏まえ、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき連結業績予想を公表するものです。

未だ同感染症の収束時期は不確実な状況が続いており、営業再開以降、安心・安全を最優先とした感染防止対策に努め営業いたしておりますが、入店客数は前年を下回る水準で推移しており、当該影響が2021年2月末まで継続することを前提に算出いたしました。

なお、今回の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の第2波による再度の緊急事態宣言等の大規模な社会的制限については想定いたしておりません。今後、更なる感染症拡大やそれに伴う消費動向変化等により、当予想は大きく変動する可能性があり、今後の業績動向を踏まえ、開示すべき重要な事項が発生した場合には、速やかに業績への影響を開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,151	4,020
受取手形及び売掛金	1,663	1,813
商品	2,433	1,911
貯蔵品	20	17
その他	569	547
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	8,839	8,309
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,587	12,004
土地	24,011	24,011
その他（純額）	782	709
有形固定資産合計	37,380	36,725
無形固定資産	251	266
投資その他の資産		
差入保証金	2,143	2,070
その他	1,929	1,802
貸倒引当金	△205	△67
投資その他の資産合計	3,868	3,805
固定資産合計	41,500	40,797
資産合計	50,339	49,106

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,045	4,635
短期借入金	11,333	11,833
未払法人税等	126	85
前受金	7,396	7,700
その他の引当金	276	287
その他	3,502	3,119
流動負債合計	27,682	27,661
固定負債		
長期借入金	9,177	8,510
再評価に係る繰延税金負債	2,874	2,874
商品券回収損失引当金	792	816
退職給付に係る負債	947	859
資産除去債務	191	189
その他	559	337
固定負債合計	14,543	13,587
負債合計	42,225	41,249
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,532	10,532
資本剰余金	11,904	11,904
利益剰余金	△20,061	△20,321
自己株式	△27	△27
株主資本合計	2,347	2,087
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14	10
土地再評価差額金	5,766	5,766
退職給付に係る調整累計額	△14	△7
その他の包括利益累計額合計	5,766	5,769
純資産合計	8,113	7,856
負債純資産合計	50,339	49,106

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
売上高	33,196	23,256
売上原価	25,482	17,935
売上総利益	7,714	5,320
販売費及び一般管理費	7,162	5,724
営業利益又は営業損失(△)	551	△403
営業外収益		
受取利息	4	0
持分法による投資利益	65	48
固定資産受贈益	126	—
協賛金収入	97	1
未回収商品券受入益	136	145
受取賃貸料	34	32
助成金収入	—	151
その他	86	59
営業外収益合計	552	438
営業外費用		
支払利息	206	195
売上割引	191	143
商品券回収損失引当金繰入額	91	95
地代家賃	3	—
その他	108	58
営業外費用合計	602	492
経常利益又は経常損失(△)	501	△457
特別利益		
固定資産売却益	28	—
資産除去債務戻入益	51	—
特別利益合計	80	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	2
固定資産除却損	184	0
特別損失合計	184	2
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	396	△459
法人税、住民税及び事業税	18	29
法人税等調整額	47	△229
法人税等合計	65	△199
四半期純利益又は四半期純損失(△)	331	△259
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	331	△259

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	331	△259
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	△1
退職給付に係る調整額	36	6
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	△2
その他の包括利益合計	32	2
四半期包括利益	363	△257
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	363	△257
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。